

第24回

眼科診療 アップデートセミナー

2026 in Kyoto



生涯教育事業 認定事業番号:15803

2026 3/7 (Sat) ・ 3/8 (Sun)

ウェスティン都ホテル京都 および オンライン

〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1 TEL:075-771-7111

ハイブリッド形式

主催 関西眼疾患研究会

代表世話人 木下 茂、大橋 裕一

第24回 眼科診療アップデートセミナー

2026 in Kyoto

Hybrid Seminar

プログラム

(敬称略)

2026年3月7日(土曜日)

●モデレーター: 木下 茂 (京都府立医科大学)

14:00~14:05	開会の挨拶		
14:05~14:25	医師のためのChatGPT実践入門	奥村 直毅 (同志社大学)	関西眼疾患研究会指定演題
14:25~14:45	細菌性結膜炎とウイルス性結膜炎: その診断と治療	井上 幸次 (日野病院 / 鳥取大学)	関西眼疾患研究会指定演題
14:45~15:05	角膜感染症 治療のポイント	外園 千恵 (京都府立医科大学)	参天製薬株式会社 共催
15:05~15:20	Message from CEO and Coffee Break	(参天製薬株式会社)	
15:20~15:40	緑内障の病態:現在の考え方	中野 匡 (東京慈恵会医科大学)	千寿製薬株式会社 共催
15:40~16:00	緑内障点眼薬とSLTと手術: どう選択する	東出 朋巳 (金沢大学)	関西眼疾患研究会指定演題
16:00~16:20	さまざまなMIGSの使い方	三木 篤也 (愛知医科大学)	大塚製薬株式会社 共催
16:20~16:35	Coffee Break		
16:35~16:55	OCTで読む加齢黄斑変性	辻川 明孝 (京都大学)	バイエル薬品株式会社 共催
16:55~17:15	加齢黄斑変性:治療アップデート	五味 文 (兵庫医科大学)	関西眼疾患研究会指定演題
17:15~17:35	遺伝性網膜ジストロフィ: 診療のコツとトピックス	近藤 峰生 (三重大学)	関西眼疾患研究会指定演題
17:35~17:45	Message from CEO and Coffee Break	(日本アルコン株式会社)	
17:45~18:05	パキコロイド病とは何か	岸 章治 (前橋中央眼科 / 群馬大学)	関西眼疾患研究会指定演題
18:05~18:25	網膜剥離の治療のポイント	瓶井 資弘 (愛知医科大学)	日本アルコン株式会社 共催
18:25~18:30	一口メモ		

2026年3月8日(日曜日)

●モデレーター：瓶井 資弘 (愛知医科大学)

08:05~08:25	MGD、霰粒腫そして眼瞼炎の治療法	鈴木 智 (京都市立病院 / 京都府立医科大学)	関西眼疾患研究会指定演題
08:25~08:45	霰粒腫と鑑別を要する 眼瞼腫瘍の診断と治療	後藤 浩 (東京医科大学)	関西眼疾患研究会指定演題
08:45~09:05	ドライアイ治療の新時代	堀 裕一 (東邦大学)	関西眼疾患研究会指定演題
09:05~09:20	Message from CEO and Coffee Break (千寿製薬株式会社)		
09:20~09:40	眼科診療へのAIの関与： 未来に向かってどう読む	大鹿 哲郎 (筑波大学)	HOYA株式会社 メディカル事業部 共催
09:40~10:00	良好な視力を維持して、増殖性変化を 確実に止める、糖尿病網膜症治療	村田 敏規 (信州大学)	関西眼疾患研究会指定演題
10:00~10:20	黄斑上膜の最新情報	門之園 一明 (横浜市立大学)	関西眼疾患研究会指定演題
10:20~10:35	Message from CEO and Coffee Break (合同会社オーリオンバイオテック・ジャパン)		
10:35~10:55	近視性黄斑症と視神経症の 診断と対処法	大野 京子 (東京科学大学)	関西眼疾患研究会指定演題
10:55~11:15	小児の近視とさまざまな進行予防法	五十嵐 多恵 (東京都立広尾病院 / 東京科学大学)	HOYA株式会社 ビジョンケア事業部門 共催
11:15~11:35	日本における屈折矯正手術： 現在と未来	神谷 和孝 (昭和医科大学)	関西眼疾患研究会指定演題
11:35~11:45	Coffee Break		
11:45~12:05	ぶどう膜炎の治療ストラテジー	蕪城 俊克 (自治医科大学)	関西眼疾患研究会指定演題
12:05~12:25	眼科の再生医療	西田 幸二 (大阪大学)	ロート製薬株式会社/ ロートニッテン株式会社 共催
12:25~12:30	閉会の挨拶		

※セミナー全体の共催をされる企業:合同会社オーリオンバイオテック・ジャパン、興和株式会社、株式会社ニデック

※プログラム内容や進行時間、講演タイトルは今後変更となる可能性があります。

取得単位について

- **現地参加**：3時間の聴講で1.5単位取得可能＝1日で最大1.5単位まで取得可能（⇒2日で3.0単位まで取得可能）
- **オンライン参加（ライブ配信参加）**：2時間の視聴で1.0単位まで取得可能＝1日で最大1.0単位まで取得可能（⇒2日で2.0単位まで取得可能）
- **オンデマンド配信聴講**：<2026年3月28日（土）正午～4月11日（土）正午> 単位対象期間は2026年3月28日（土）正午～2026年4月4日（土）正午となります。
聴講確認がとれた参加者に対し、1時間以上のプログラム視聴で0.5単位＝最大0.5単位まで取得可能

※現地参加、及びオンライン参加（ライブ配信参加）とオンデマンド参加の単位は重複して取得いただくことはできません。

共 催

関西眼疾患研究会

大塚製薬株式会社、合同会社オーリオンバイオテック・ジャパン、
興和株式会社、参天製薬株式会社、千寿製薬株式会社、
株式会社ニデック、日本アルコン株式会社、バイエル薬品株式会社、
HOYA株式会社 ビジョンケア事業部門、
HOYA株式会社 メディカル事業部、ロート製薬株式会社、
ロートニッテン株式会社



連絡事務局

第24回 眼科診療アップデートセミナー2026 in Kyoto 事務局

（株式会社JTBコミュニケーションデザイン ミーティング&イベント第一事業局）

E-mail : kyoto-update-seminar@jtbc.com.co.jp

事務局受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00（土日祝祭日・12/28～1/5は除きます）